

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ビリーブ諸岡		
○保護者評価実施期間	令和7年12月3日		～ 令和7年12月11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和7年12月3日		～ 令和7年12月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「子供が安心感を持って通所している」「支援に満足している」という項目で、ほぼすべての保護者様から肯定的な評価をいただいています。家庭的な雰囲気の中で、子どもたちがリラックスして過ごせる環境を整えるように努めています。	活動プログラムにつきましては、事業所としては「繰り返すこと」で習得し、自信に繋げることを意図しています。同じ活動名であっても個々の成熟度に合わせて難易度やグループ分けを調整する工夫を行なっています。	活動内容についての考えや意図(なぜ繰り返すのか)を保護者様へ説明しつつ、子どもたちが「できた!」という達成感をより多く感じられる支援を行います。
2	契約時や更新時の説明が丁寧に行われており、個別の配慮が必要なお子様に対しても、連絡帳や送迎時のやり取りを通じて密な連携を図れるよう努めています。	見直しが行われた個別支援計画の様式に基づき、5領域(健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性)の視点を取り入れています。様式の見直しが行われた際には保護者様に書面で説明を行うことで周知を図っています。	個別支援計画について保護者様との共通理解を深めながら、お子様一人ひとりの成長段階に合わせたきめ細やかな計画策定と実施を継続していきます。
3	手厚い職員配置と有資格者によるチーム支援が行われるように努めています。	保育士、社会福祉士、精神保健福祉士、教員免許保持者など多様な専門性を持つ職員が連携し、研修や日ごろのコミュニケーションの中でそれぞれの視点から子どもたちを見守る体制を維持・強化しています。	社内研修や、外部研修にも積極的に参加し職員個々のスキルアップを図っていききたいと思います。また、研修で得たものを社内研修で共有し、全職員のスキルアップに繋げていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースの物理的制約と安全確保	民家をお借りし活用しているため車椅子に対応できるような大幅な改修は行っておりません。	構造上の変更は困難ですが、活動内容に応じたスペースの区分け、飛散防止シートの設置、職員の配置による見守り強化で安全を保管、随時点検を行っていく必要があります。
2	地域交流の機会の創出	放課後児童クラブとの関りを現在は行っていないため、直接的な連携はハードルが高い現状があります。	事業所の近隣の公園や店舗などを継続して利用させていただき、社会や地域との接点を増やす活動を継続して行っています。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス ピリブ 諸岡

公表日 令和8年3月6日

利用児童数 19

回収数 18

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	4	1	2	・ 装具を着けているため完全に個人的な「スペース」に関する主観です。それを補うご指導と人員配置をして頂いていません ・ 受け入れ人数の割には狭く感じます	定員10名に対しての基準を満たす構造となっております。その日の活動内容や子ども達の人数に合わせてスペースを分けける等、安全面や過ごしやすさに配慮しながら状況に応じて臨機応変に対応しております。「それを補うご指導と人員配置をして頂いている」とのご評価も頂いておりますが、怪我や身体面で配慮が必要なお子様が利用される際は、保護者の方との情報共有をしっかりと行い、職員間でもお子様が安心安全に過ごせるように対応方法を検討させていただきま
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	1		2	・ 配置は多いと聞きますが目が行き届いているかは…??な所もあります	利用児10～15名に対し職員を4～6名配置し、手厚い人員配置で支援にあたっております。また、保育士や社会福祉士、精神保健福祉士、教員免許などの資格保有者や教育・支援現場での経験豊富な職員が多数在籍しております。新年度には職員の配属等をお知らせするお手紙を配布しておりますのでそちらもご覧いただけますと幸いです。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	3		2	・ ところがバリアフリー化されているかが分かりません ・ 2号館内に入る機会がないのでよく分かりません。一軒家をそのまま使われているのでバリアフリー化は出来ないのでは??	民家をお借りして使用している為大規模な改修等は出来ておりませんが、床にはジョイントマットを敷き、ガラスの扉や窓には飛散防止のシートを貼るなど、子ども達が安全に過ごせるよう工夫しております。また、修繕が必要な箇所が無いかの点検も定期的に行っております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15			1	2	・ マンションの一室とは違って一家屋なので実家に帰ってきたような、過ごしやすさと思います ・ 狭いような気がします。間取りの問題もあるかと思えます
5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17			1		・ 専門性のある支援を私も求めています ・ その点がまいちです。私が投げかけても、その問いの答えがなかなか返って来ない	契約時のアセスメントや半年ごとのモニタリング、日々の活動の様子を通して保護者の方やお子様のニーズを把握した上で計画を立てております。個別支援計画の模式の見直しも行き、5領域の各項目を取り入れた支援計画を作成し、それを基に様々な観点から支援の内容を検討し実施してまいります。
6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	1				・ もう少し頑張りたいと切に願っています。家庭的な支援は受けているのでしよう…。	一昨年より策定しております、支援プログラムに沿ったプログラムを作成しております。支援プログラムで定める内容に関しましては個々の個別支援計画に繋がっていくものであることを踏まえ、管理者や直接支援に従事する職員などの意見も聞きながら作成しております。支援を行っていく中で必要に応じて内容も見直していきます。

適切な支援の提供	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	1			・少しゆるい計画ではありますが、作成はされています。もう少し客観的に分析して頂けると尚良いと思います。	保護者の方からお聞きした、ご家庭や学校での様子と合わせて、事業所での日々の活動の様子や特性を鑑みて、お子様ひとり1人の課題に応じた計画を作成しております。また、客観的な意見を取り入れられるよう、計画を作成する管理者のみではなく直接支援を行う職員の意見も取り入れながら作成しております。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	1			・明記はされています。しっかり出来ているかどうかは別として…。	5領域の策定に伴い、個別支援計画の様式の見直しを行い、5領域の各項目を取り入れた支援計画を作成し、それを基に様々な観点から支援の内容を検討し実施しております。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	1			・おそらく	契約時のアセスメント、半年ごとのモニタリングを通して保護の方とお子様のニーズを把握した上で、日頃の活動内容の見直しを行っております。小学校1年生から高校3年生と利用者の年齢の幅も広いので、それぞれの課題や習熟度に合わせた支援を検討・実施しております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1	1	2	・大体マンネリ化している気がします。パターン化したものを組み替えて順に回している感じなので、新しい取り組みもして欲しい	活動プログラムはひと月ごとに計画を立て、子ども達の成長過程に応じ、又、同様の内容が短期間に連続したり重複しないよう職員間で話し合いながら検討しております。それぞれのイベントの実施に関しましては、一回きりとせず繰り返し行うことで子ども達自身が段々と自らの成長を感じ、「始めは苦手だったことも繰り返し練習すれば上手くできるようになる」というような体験を通して自己効力感を育む機会ともなっております。名称が同じイベントであっても、個人ごとやグループごとで行ったり難易度を調整する等、その時々の子どもの習熟度や課題に応じた内容を検討し実施しております。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5		1	12	・現状やれていないと思います	買い物体験や外食体験等のイベントで事業所の近隣の店舗に外出に行くことで、事業所を知っていただく機会となっております。放課後児童クラブや児童館との交流については、今までのところ活動実績がない為、今後検討させていただきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17			1	・一番最初に聞いた	本事業所で行っている活動、支援の内容や利用者負担等については、見学時・契約時等にご説明させていただいております。毎月の行事等についても後日詳細を配付させていただいております。また様々な手続き等でご質問いただいた内容についてもその都度対応させていただいております。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	1			・我が家はいつも電話で済まされるので、しっかり支援内容を見ながらではありません	放課後等デイサービス計画に関しましては、モニタリングや担当者会議の際にご説明させて頂き、全体の内容に変更があった場合は配布物とおとして、個別に内容に変更があった際や問い合わせを頂いた際等にも必要に応じて改めてご説明させて頂いております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	1	1	3	・これ、むしろやって欲しいです。交流会ではなく、こちらに力を入れて欲しい。研修会もご検討頂きたい	貴重なご意見ありがとうございます。今までのところ保護者の方を対象とした研修会等は開催しておりませんが、職員自身が家族支援プログラムに関する研修に参加し、得た知識をお子様や保護者の方のニーズに応じて情報共有や提案として還元させていただいております。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達について共通理解ができていると思いますか。	16	1	1	特になし	利用日ごとに配信しております電子連絡帳やご自宅への送迎時、又、必要がある場合には電話連絡にてお子様の様子や状況についてお伝えし、保護者の方からも情報共有を頂いております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	1		・個別支援計画の時などお話しして助かっています ・助言ももらえていません。共感のみな気がしますよ…。	ご意見頂きありがとうございます。保護者の方からご相談を受けた場合やお子様についてお伝えしたいことがある場合には必要に応じて電話連絡や面談にてお話しさせて頂いております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	1		・一緒に成長を感じて頂いているので嬉し ・職員によってまちまち	日頃から連絡帳やご自宅への送迎時にお話させて頂く中で保護者の方の思いやお考えをお聴きし職員間で共有し共通理解を持った上で支援にあたらせて頂いております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16		2	・交流イベントは仕事のため行けていないが、写真で兄弟の交流などを見て一緒にのデイサービスで良かったと思う ・年一回の交流会でやっているのだと思います。	ご意見頂きありがとうございます。今年度は11月に親子交流会と保護者会を開催致しました。たくさんのご家族様にご参加頂きましてありがとうございます。今後とも定期的に保護者会等を開催し、ご家族様同士の交流や保護者の方のご意見等を共有頂く場を設けたいと思っております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17		1	・お話は聞いて下さいます。でも、相談に対するプロからのアンサーは明確なものがない。キャッチボールにはならない。頑張ってください	ご意見頂きありがとうございます。ご相談や申し入れについては対応マニュアルを作成し迅速に対応するよう努めております。又、契約時には苦情窓口についてのご案内を行っております。ご相談や申し入れの内容は職員間で共有させて頂き再発防止や改善策の検討をしております。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1		特になし	電子連絡帳やお電話、対面等内容や状況に応じた方法でお話をさせて頂いております。お子様に対しては特性等に応じたコミュニケーションの工夫や配慮を行っております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	1	1	特になし	お子様の活動の様子を写した写真を各ご家庭に配布させて頂いております。又、活動の様子をご紹介しますブログ記事や自己評価結果等に関しましては事業所ホームページにて公開しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16		1	1	特になし
非常時等	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1	2	特になし	各種マニュアルを策定し各ご家庭に配布、周知をさせて頂いております。又、社内では各種マニュアルの内容に沿った研修や訓練を実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13		5	・学校などでも行われていますが家などではしていません訓練で不安もなく学校でも落ち着いてできているようです。	様々な非常事態や災害時を想定した訓練を年に数回実施しております。訓練時には避難経路の確認や注意事項の振り返りをクイズ形式で行うなど、子ども達に分かりやすく身につくよう工夫しています。また、救命救急や応急処置についての社内研修も実施しております。

の 対 応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	2		2	・ガラスの扉などもありますし安全の確保は難しい部分もあるのでは?と思います	安全計画を策定し、ご契約時等に周知させていただいております。ご指摘のガラス扉や窓に関しては、飛散防止シートを貼るなどの危険防止策を講じております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16			2	特になし	事故や怪我が発生した場合には管理者が状況の確認・把握を行い、速やかに保護者の方へご連絡し、事故発生の際の経緯や状況、お子様の様子についてお伝えしております。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	17	1			特になし	常に子ども達の表情や言動に気を配り心と身体の少しの変化にも気づけるよう職員全員で見守りを行い、信頼関係を基に子ども達が安心して気持ちを伝えられるような支援を心がけております。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	2			・学年が上がり色々な感情が出てきているのは確かです	ご意見頂きありがとうございます。子ども達の学年や成長過程に応じた支援やプログラムを検討し実施しております。イベント内容に関しまして子ども達のその時々々の興味・感心や課題、得意・不得意を考慮し安心感と楽しみを持って通所できるような環境作りに努めております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1			・頑張っって欲しい所がある為	ご意見頂きありがとうございます。今後とも、保護者の方や子ども達のニーズやご意見をお聞かせ頂きながら、様々な体験を通して子ども達が笑顔で楽しく学び成長できる居場所作りを全職員一丸となり行って参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービスビリーブ 諸岡		令和8年3月6日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用定員に合わせてスペースを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		定員に対し規定数にそった人数を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		現時点ではバリアフリーが必要な利用児がない為バリアフリー化は行っていないが、危険個所については定期的な点検を行い、必要に応じて補修・改善を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		学習スペースと活動する部屋を分けている。また終業前に毎日の清掃と消毒を実施している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別の面談が必要な場合やクールダウンが必要な場合等に2階の事務所や別の部屋を使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		長期休み後などを中心に職員全体で振り返り、次回に向けての目標設定を行う時間を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に一度評価表を配布し保護者の意見を収集し、事業所内での共有、HPでの公表を行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に個別の面談を行っている。また、毎日の朝礼などでも意見や悩みなどを共有する場が設けられている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		実施していない	検討をしていく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事業所内では、衛生や安全計画に規定研修に加え、必要に応じた研修を随時行っている。各種の社外研修を受講する機会も確保されている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		作成し、事業所のHPにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		定期的にモニタリングを行い、日々の活動での様子や保護者の意向を確認し作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		日々の活動の様子を把握している職員とも共有し共通理解を図った上で様々な角度からの意見や、考えられる支援方法を取り入れている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		モニタリングや支援者会議の内容を記録・共有し、常に参照できるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		利用開始時にアセスメントを行い、その後も日々の活動の様子を確認し進捗時等定期的に見直し、更新を行っている。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインを参考に、支援内容にそれぞれ当てはまるものをピックアップし支援方法、内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		日々の活動プログラムの立案や内容の改善を含め、利用児が必要としている支援を検討しながらチームで行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		月ごとのプログラムの設定時に同様のイベントが連続しないよう検討し、又、イベントの実施方法も固定せず随時変更、改善を加えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		ソーシャルスキルや運動、手先、言語等様々な面を支援するプログラムにおいて個別活動、集団活動を組み合わせている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝、3事業所合同でのミーティングを実施している。必要に応じて各事業所ごとのミーティングも行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		個別に対応した利用児がいた場合や保護者からの連絡があった場合等必要に応じて情報共有、意見交換を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		保護者宛の連絡帳や事業所内のケース記録にて日々の利用児の様子、出来事、支援の記録を行い、振り返りや改善策の検討に利用している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一回のモニタリングや、必要な場合には半年以内のモニタリングも行い見直しをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		3事業所全体で支援方針を検討し、各項目を組み合わせた支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		集団活動の他にもそれぞれの利用児自身が何をするか個別に選択して過ごせる時間を設けている。それぞれの利用児にとって分かりやすい選択肢の示し方を工夫し自己決定をサポートしている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管を中心に、必要に応じて他の職員も参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		各学校や保育所、障害福祉機関と連携し支援を行っている。通院している利用児がいる場合は必要に応じて医療機関との情報共有もしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		主に学校送迎時や電話連絡時に行っている。学校でのトラブルと事業所内でのトラブルが関連している場合や支援方針の共有が必要な場合等にも行っている。必要に応じて学校の先生を含めた担当者会議も開催している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		利用開始前、利用開始後ともに就学前の利用児の様子や行われていた支援についての情報共有を依頼する場合がある。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		スムーズに移行できるように情報の共有を行うために必要に応じて担当者会議を開催している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターとの連携は必要に応じて行うが、現時点では行っていない。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		現時点では行われていない。	今後、地域の他の子ども達との交流が図れるような活動を検討していく。

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		定期的に開催されている研修会等に参加し、社内研修でも共有を行っている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		利用日ごとに配信する連絡帳や自宅送迎時、必要に応じて電話連絡により共通理解を図っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		家族支援プログラムについての研修会に参加している。	研修などは未着手である。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		見学時や契約時の面談の際に行っている。 又、変更や追加がある度に保護者への周知を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		保護者と利用児双方の、利用に当たっての目標や目的を最優先とし計画を立てている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		見学時・利用開始時や、更新等プロセス内に説明の場を設け、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		電話や連絡帳、送迎時にて相談を受け、必要に応じて来所していただき面談を行う場合もある。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		年に一度保護者会を開催し、保護者同士での交流の機会を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		対応の体制を整え、苦情を受けた場合には必要に応じて役所への報告を行い対応を図っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		HPに通信や規定を掲示し、活動の様子を写した写真を各家庭に配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		管理に十分に気を配っている。HP等で写真を取り扱う際は、個人情報が出漏れないよう注意し、二重確認を行ってから公表している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		口頭でのコミュニケーションが難しい場合は文章や図等の視覚情報を用いるなど、必要に応じてコミュニケーションの方法を工夫している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>		イベントの会場として地域の公民館を利用する場合もある。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		行っている。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		策定し、計画に沿った訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		アセスメントシートに記載欄を設け把握している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		医師の指示書がある場合はコピーを取らせていただき内容を把握した上で対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		HPに安全計画を掲示し周知している。	

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット発生時にはその都度ミーティングでの共有、報告書の作成・記録を行い、再発防止策の検討を行っている。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置し研修を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束適正化委員会を設置し研修を実施している。又、保護者の了解を得た上で計画に記載している。	